

ワークショップを中心とした実践的教育体系構築の試み

背景・目的

自主性と実践力がある人材育成が大学教育の役割として、ますます重要視されるようになってきている。本課題は学生達自ら各種活動の企画、運営に携わり、その過程のなかで「核」となる学生の自主性と実践力を養い、さらに全学科の学生を牽引し、学生主体となる各種イベントを盛んに行っていく事を目的とする。

実施内容

今年度は下記の3つを中心に実施した。

1. Amaryllis Presents 就職セミナー

内定をいただいた4年生7名が相談役として、学生の質問を答える「座談会形式」であった。建築、デザイン、教職など多分野に渡り、参加者は20名～25名ほどだった。相談相手が先輩だからこそ聞けるような質問もあった。

2. イラストレーター&フォトショップ講習会

学生のスキル向上を目指した講習会である。参

けれど、説明わかりやすく良かったです(2年)」などのコメントがあり、好評だった。

3. 活動報告「Kaleidoscope」の出版

建築学生有志団体「アマリリス」の3年間の活動報告を中心に、各学年の優秀課題も収録されている万華鏡のような報告集である。表紙デザインやページレイアウトを始め、取材や編集、すべての作業を学生が中心に行った。

結果及び考察

全体の統括を担う建築学生有志団体「アマリリス」は組織としての団結力、即戦力は3年間の活動を通じて着実に鍛えられてきており、組織として定着してきていることが成果である。一方、3年生が中心的に活動している現状に対して、さらに1～2年生の自主性を啓発していくことで、全学科学生が積極的に活動に関わって行けるための体制作りを今後の課題として挙げられる。



加者からは、「初めてイラストレーターを使った

